

昭島市 市民意識調査

(概要版)

市民意識調査概要版は、平成 15 年 6 月に実施した「昭島市 市民意識調査」を要約したものです。今回の意識調査では、「定住意向」「暮らしの満足度」「災害対策」「少子高齢化」「学校教育・生涯学習」などについてお聞きしました。これらの調査結果については、今後の行政施策の参考資料として活用して参ります。

調査の内容

- 1 定住意向
- 2 暮らしの満足度
- 3 災害対策
- 4 少子高齢化
- 5 学校教育・生涯学習
- 6 環境
- 7 情報化
- 8 男女共同参画
- 9 NPO
- 10 市政・市役所
- 11 昭島市のイメージ

調査の概要

対象者	昭島市在住の満 16 歳以上の男女個人
対象数	1,000 人
抽出方法	層化二段無作為抽出法
調査方法	郵送留め置き - 訪問回収法
調査期間	平成 15 年 6 月 23 日 ~ 7 月 11 日
有効回収数	732 票
有効回収率	73.2%

平成 15 年 10 月

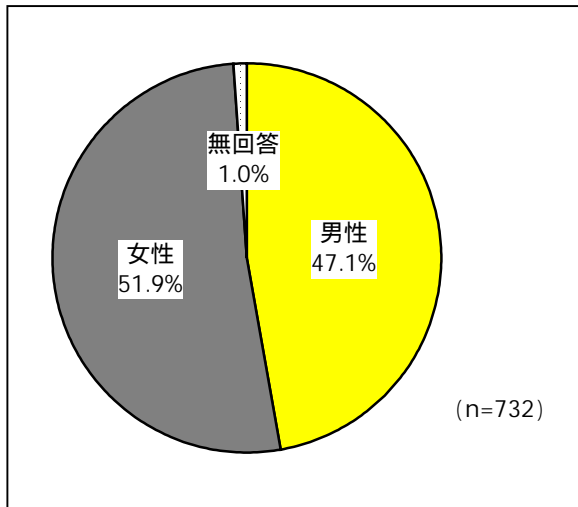
昭島市

回答者の特性

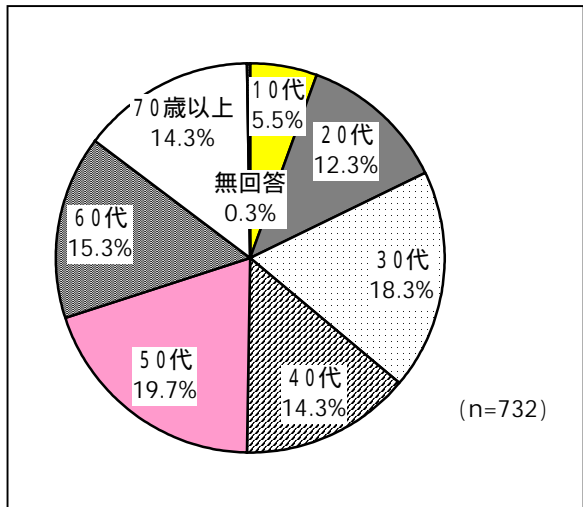
グラフの見方

- 1 (複数回答)と記述されたもの以外は、選択肢を1つだけ選ぶ設問です。
- 2 小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならないものがあります。
- 3 複数回答の設問については合計が100%を超えることがあります。
- 4 グラフ中のnは設問の回答者数を表します。

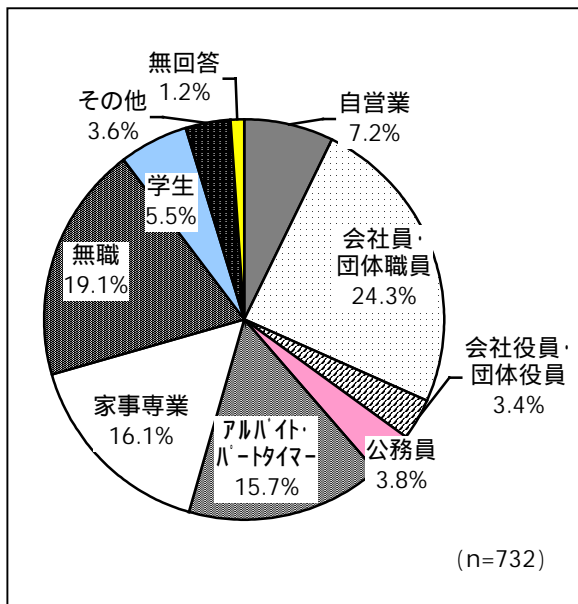
性別



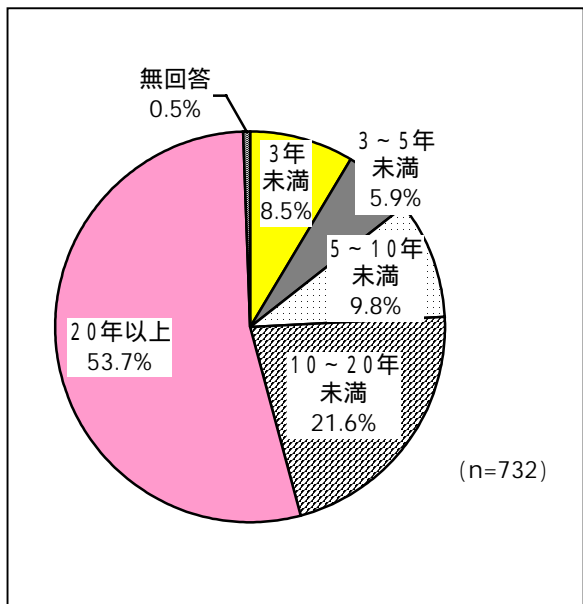
年齢



職業



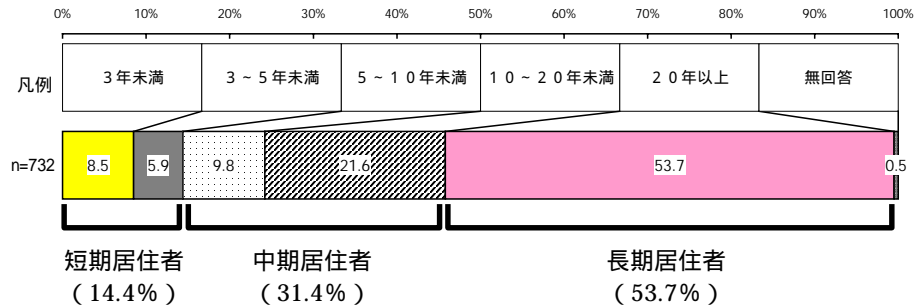
居住年数



1 定 住 意 向

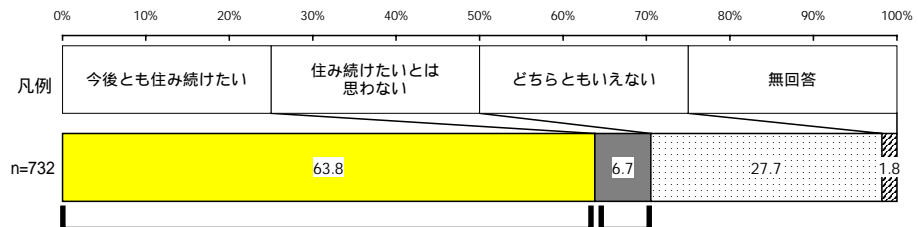
(1) 居住年数

「20年以上」の長期居住者が53.7%を占めています。



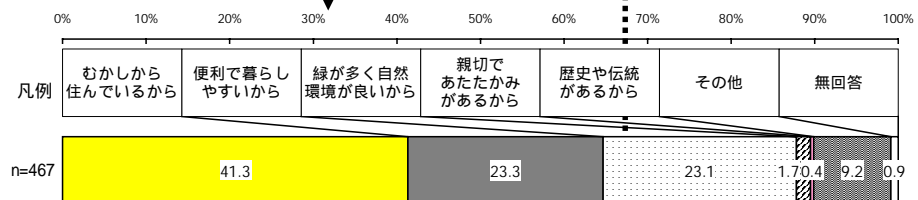
(2) 定住意向

「今後とも住み続けたい」という市民は63.8%を占めています。



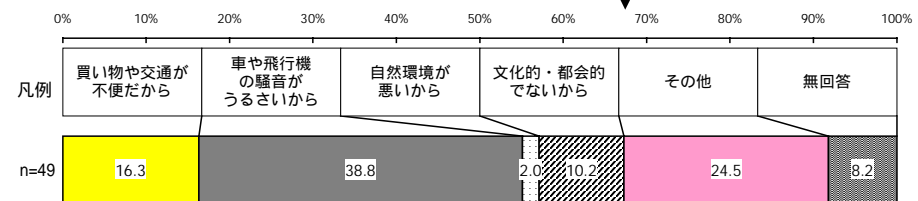
(3) 住み続けたい理由

今後とも住み続けたい市民の41.3%は「むかしから住んでいるから」を理由に挙げています。



(4) 住み続けたいとは思わない理由

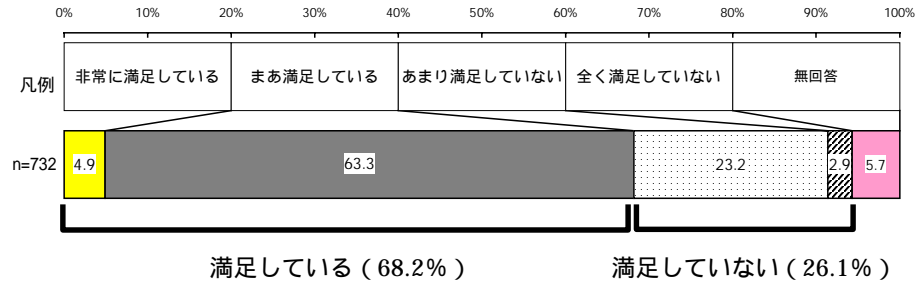
住み続けたいとは思わない市民の38.8%は「車や飛行機の騒音がうるさいから」を理由に挙げています。



2 暮らしの満足度

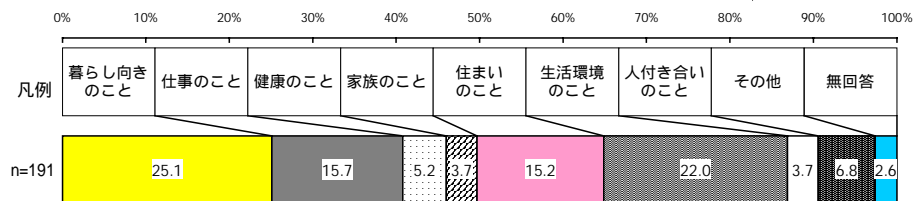
(1) 暮らしの満足度

暮らしに「満足している」という市民は68.2%を占めています。



(2) 満足していない理由

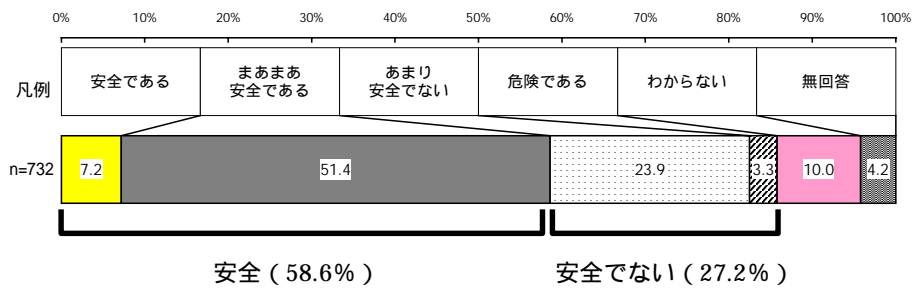
暮らしに満足していない市民の満足していない理由は「暮らし向きのこと」(25.1%)が最も多く、次いで「生活環境のこと」(22.0%)、「仕事のこと」(15.7%)、「住まいのこと」(15.2%)等の順となっています。



3 災 害 対 策

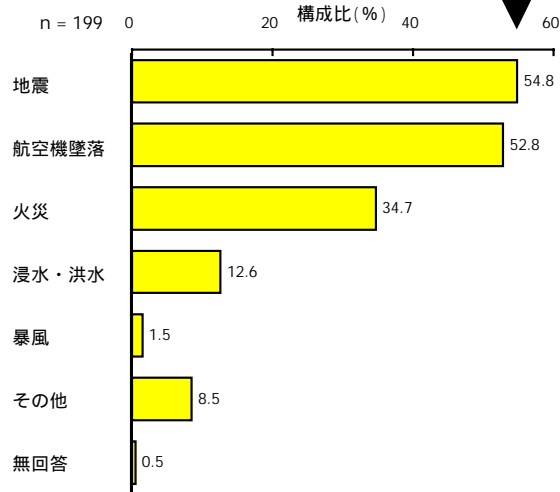
(1) 安全性

災害時の安全性を「安全」という市民は 58.6%を占めています。



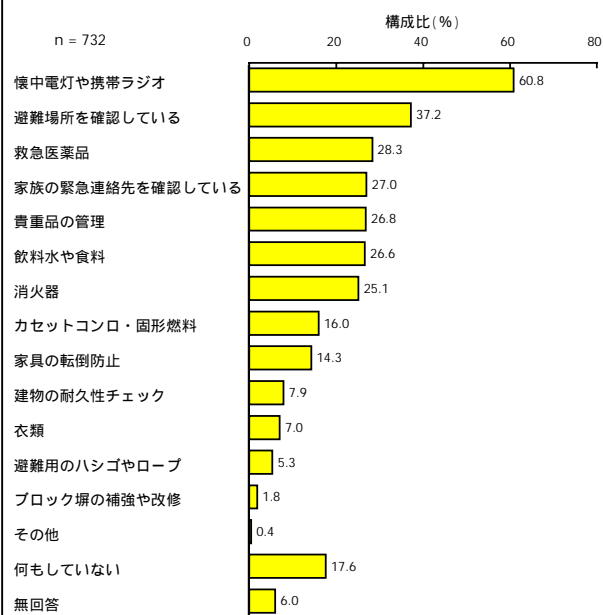
(2) 危険と感じる災害 (複数回答)

安全でないと答えた市民が、危険だと感じる災害は「地震」(54.8%)が最も多く、次いで「航空機墜落」(52.8%)、「火災」(34.7%)、「浸水・洪水」(12.6%)等の順となっています。



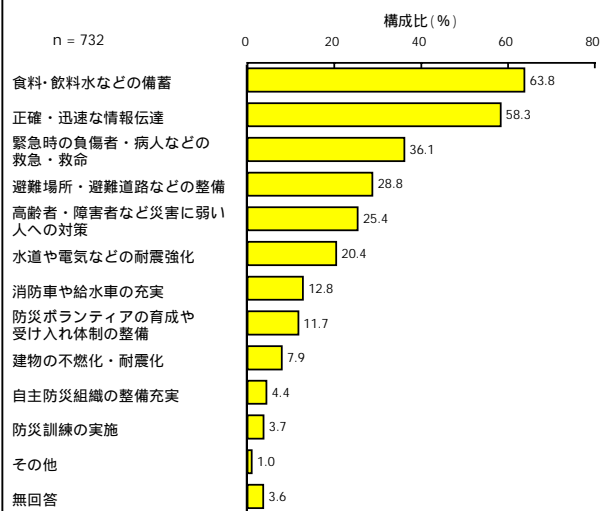
(3) 災害に対する備え (複数回答)

「懐中電灯や携帯ラジオ」が最も多くなっています。



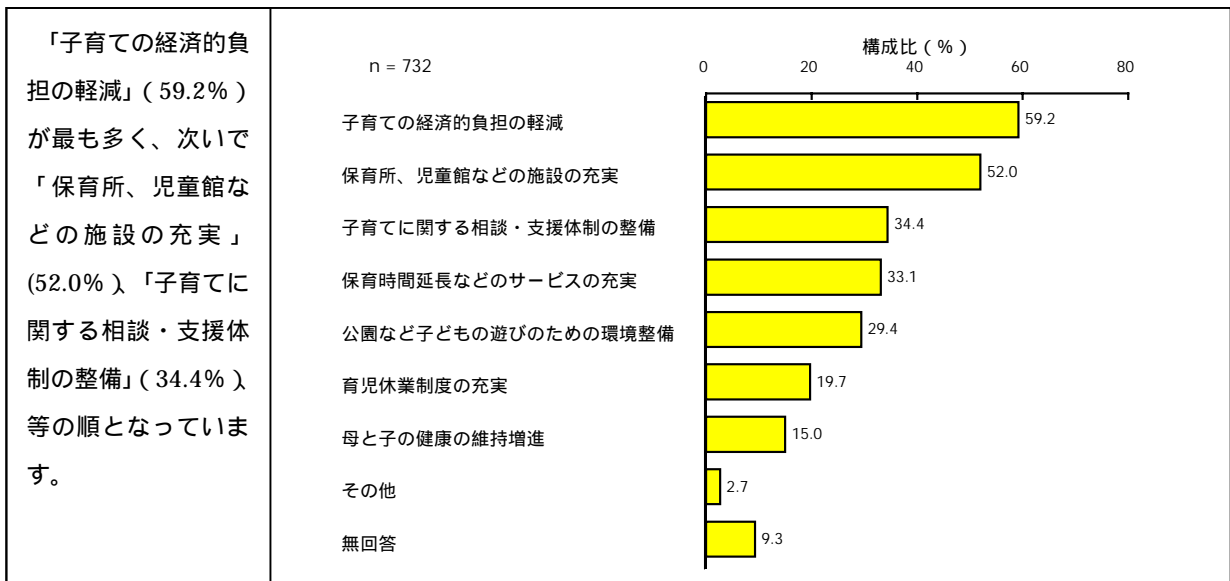
(4) 市の災害対策 (複数回答)

「食料・飲料水などの備蓄」が最も多くなっています。

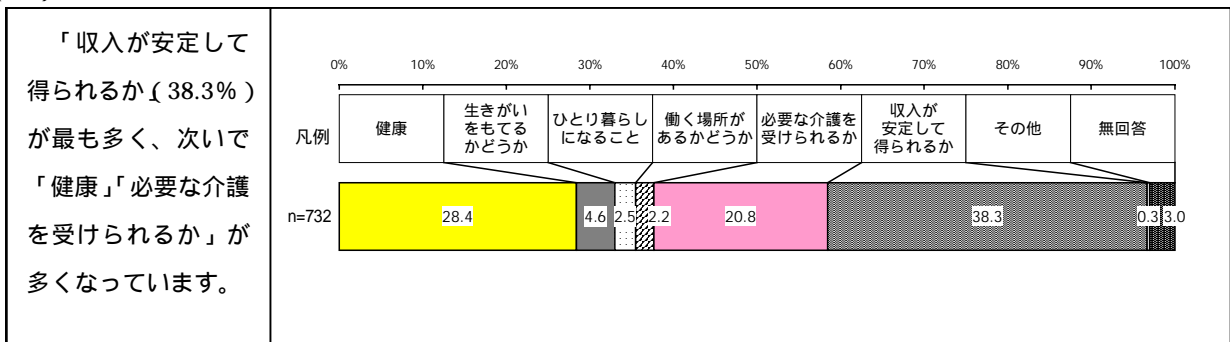


4 少 子 高 齢 化

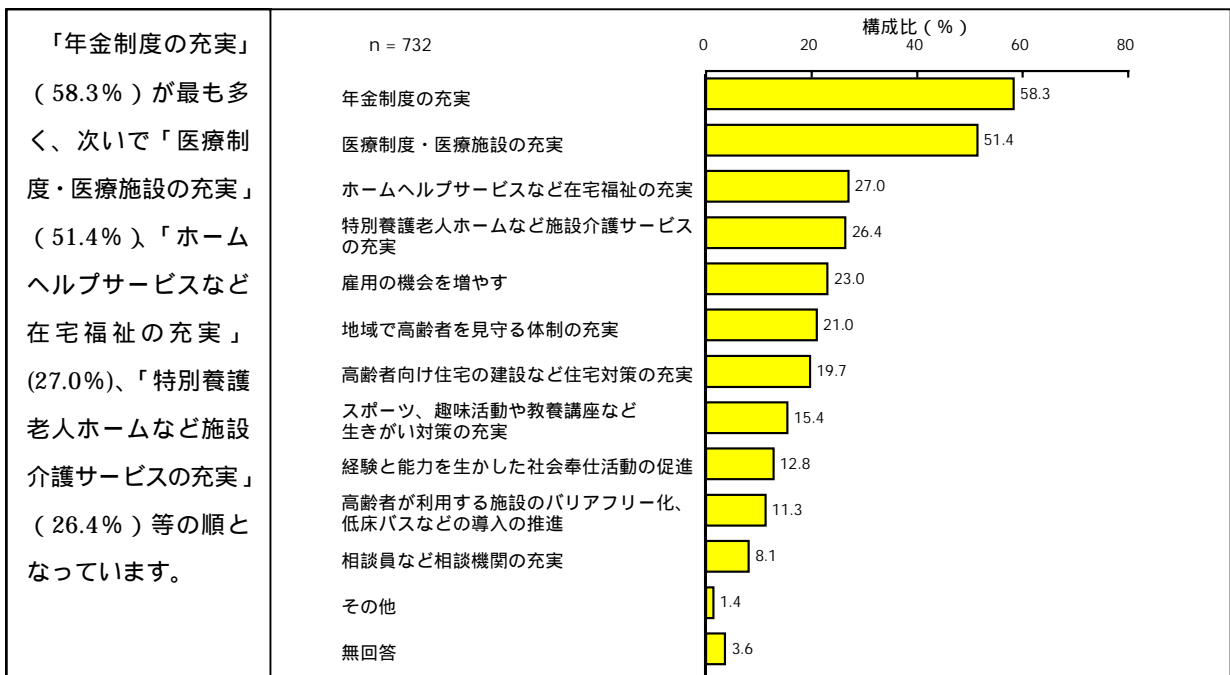
(1) 子育て支援対策（複数回答）



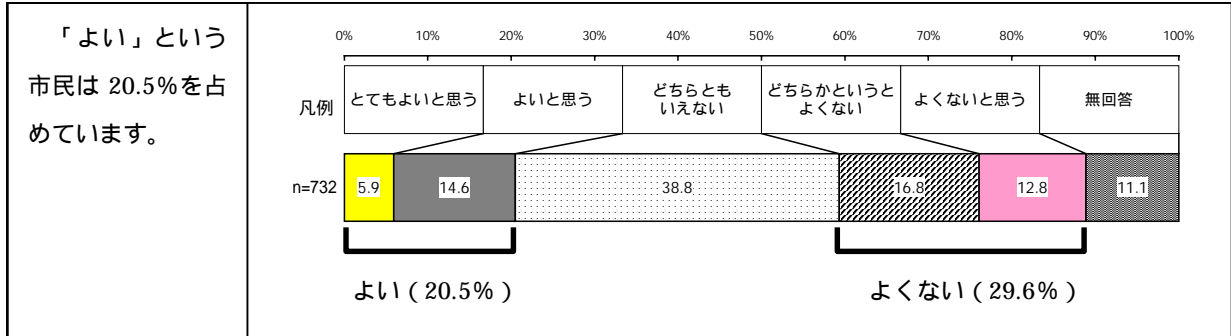
(2) 老後の不安



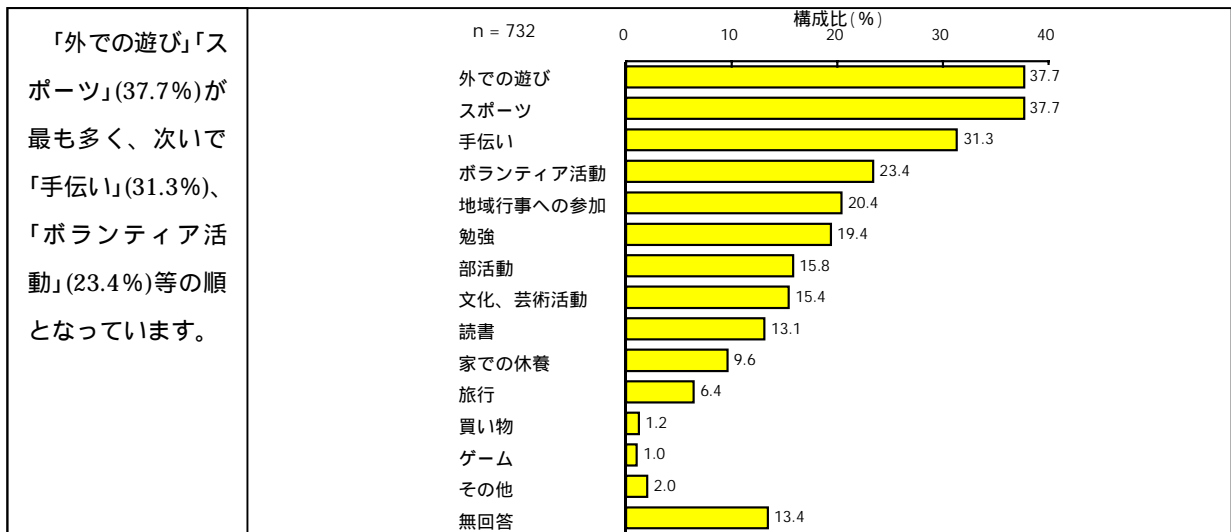
(3) 高齢者施策（複数回答）



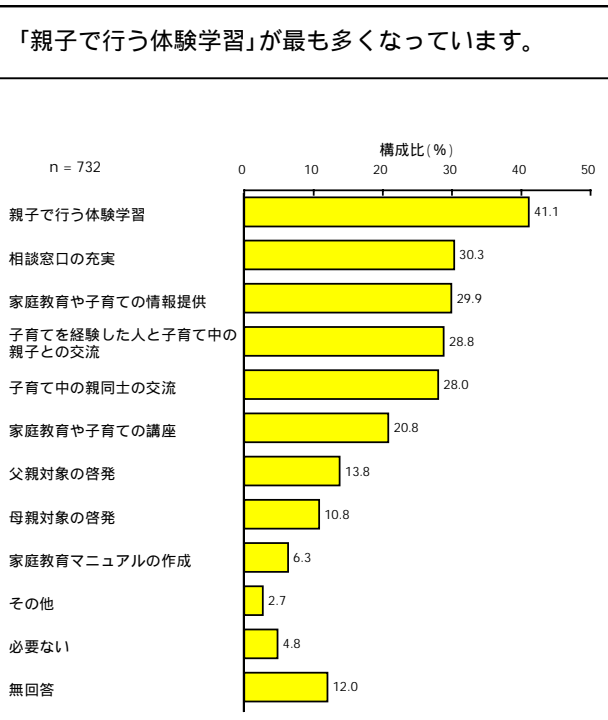
(1) 土曜休日の感想



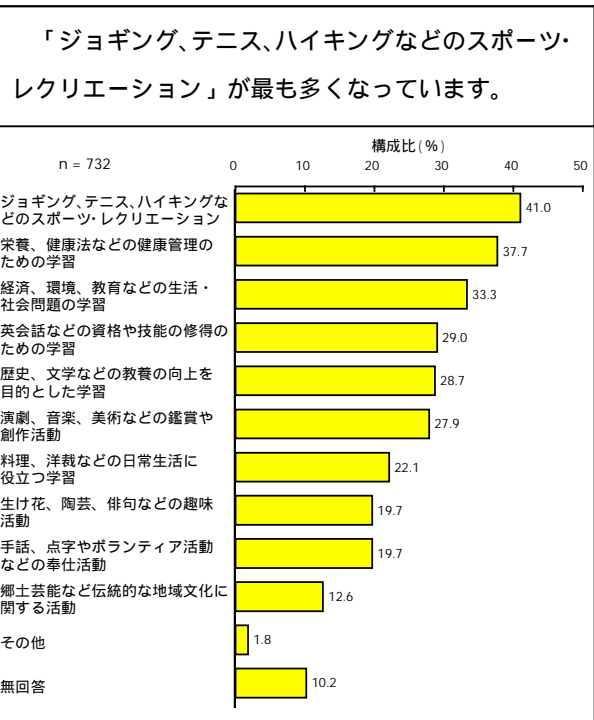
(2) 土曜日にさせたいこと(複数回答)



(3) 家庭教育支援対策(複数回答)

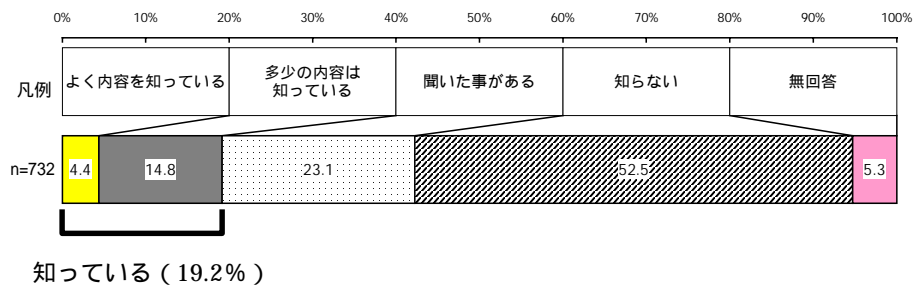


(4) 生涯学習での関心(複数回答)



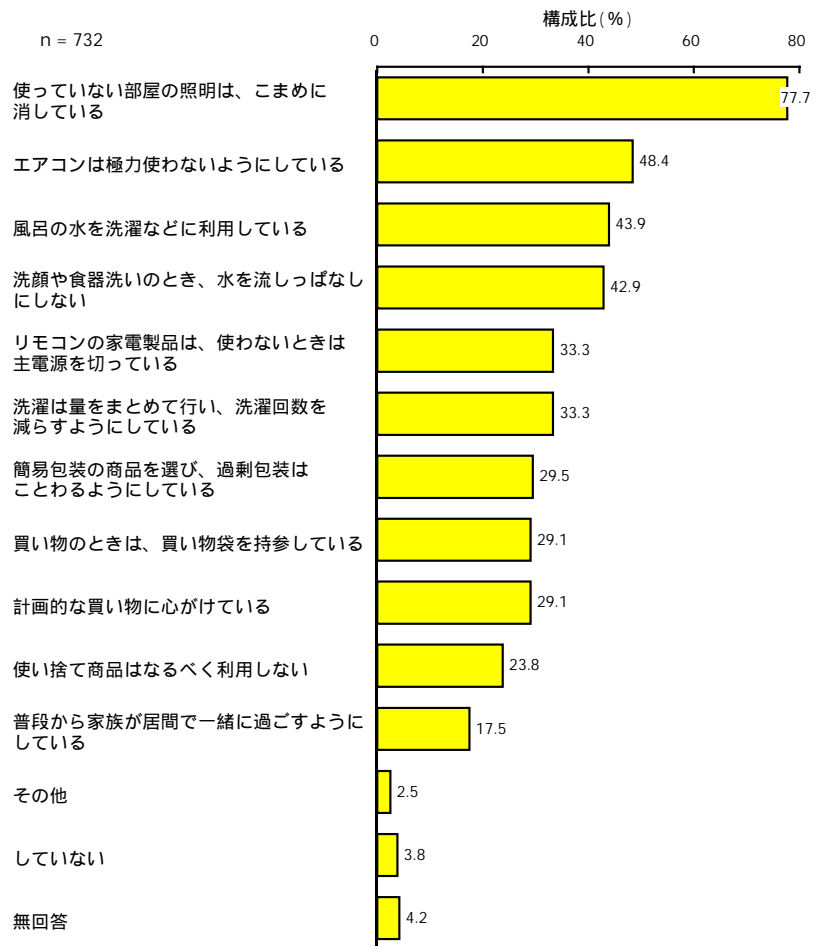
(1) ISOの認知度

ISO14001について「知っている」という市民は19.2%を占めています。



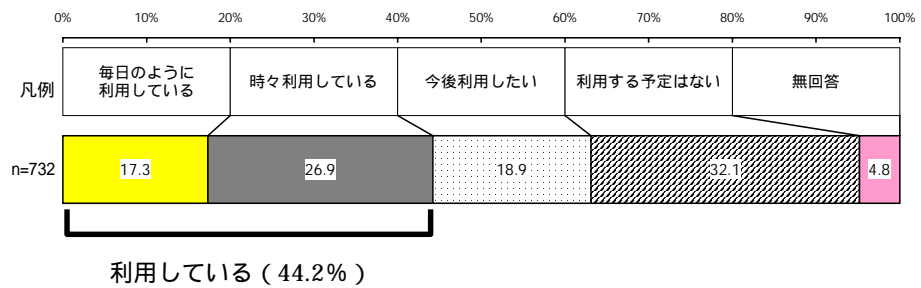
(2) 日頃の省エネ活動 (複数回答)

日頃行っている省エネ活動や省資源活動は「使っていない部屋の照明は、こまめに消している」(77.7%)が最も多く、次いで「エアコンは極力使わないようにしている」(48.4%)、「風呂の水を洗濯などに利用している」(43.9%)、「洗顔や食器洗いするとき、水を流しっぱなしにしない」(42.9%)等の順となっています。



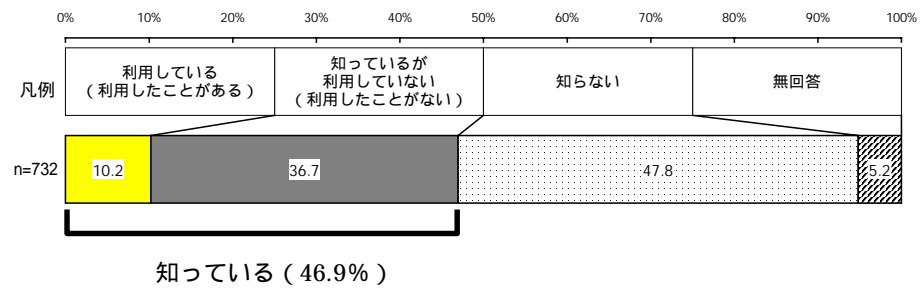
(1) インターネットの利用

インターネットを「利用している」という市民は44.2%を占めています。



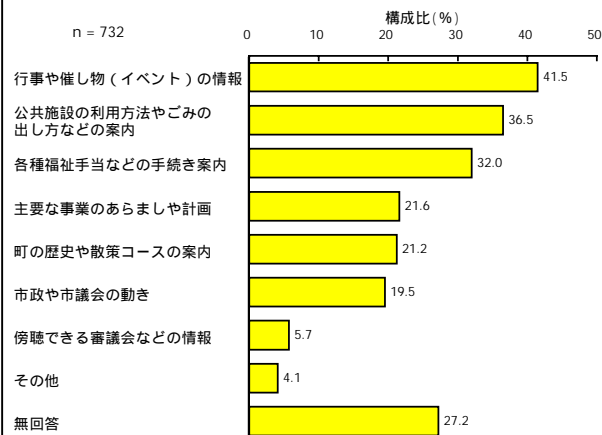
(2) 市のホームページの認知度

市のホームページを「知っている」という市民は46.9%を占めています。



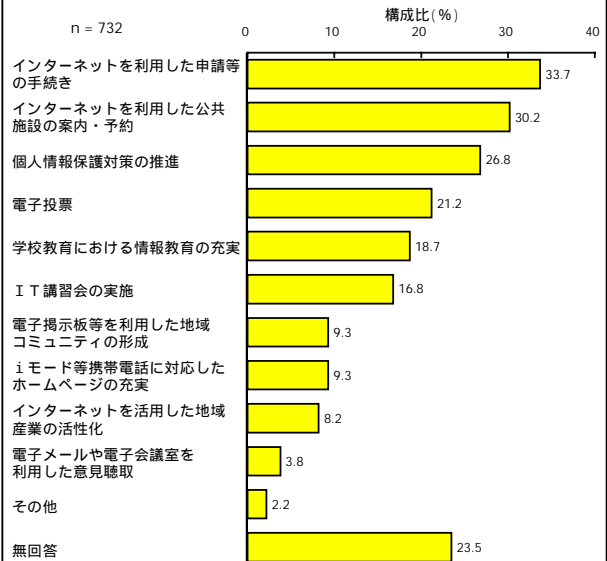
(3) 市のホームページの要望 (複数回答)

「行事や催し物(イベント)の情報」が最も多くなっています。



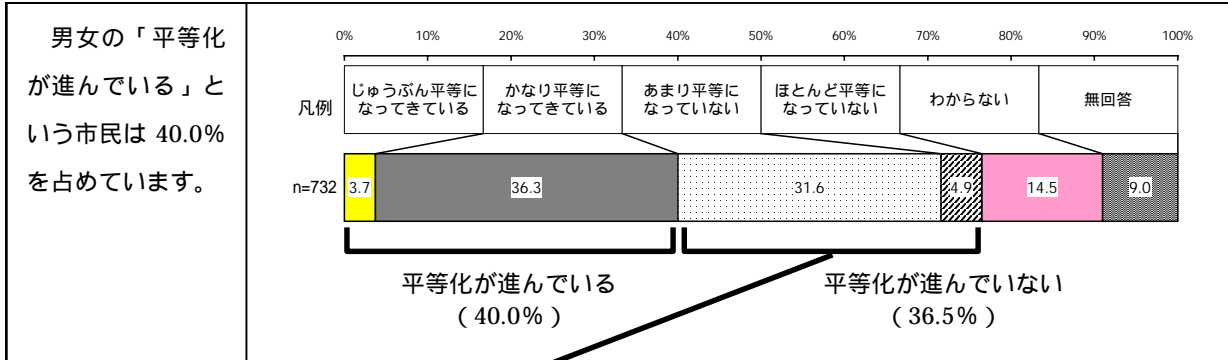
(4) 情報化施策の要望 (複数回答)

「インターネットを利用した申請等の手続き」が最も多くなっています。



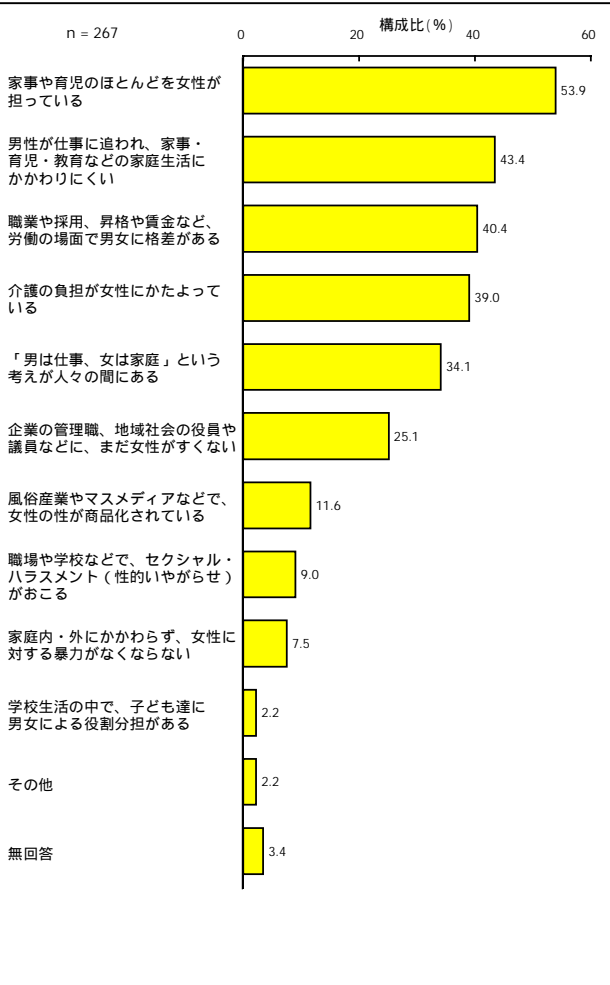
8 男女共同参画

(1) 男女平等化の進展



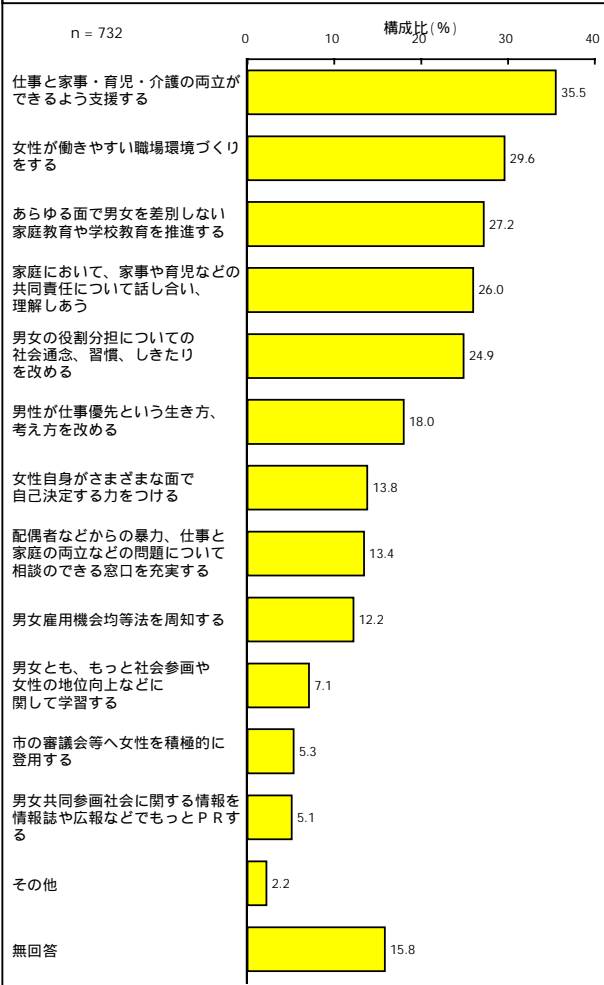
(2) 男女不平等を感じる点 (複数回答)

平等化が進んでいないと答えた市民が、男女不平等だと感じる点は、「家事や育児のほとんどを女性が担っている」(53.9%)が最も多くなっています。

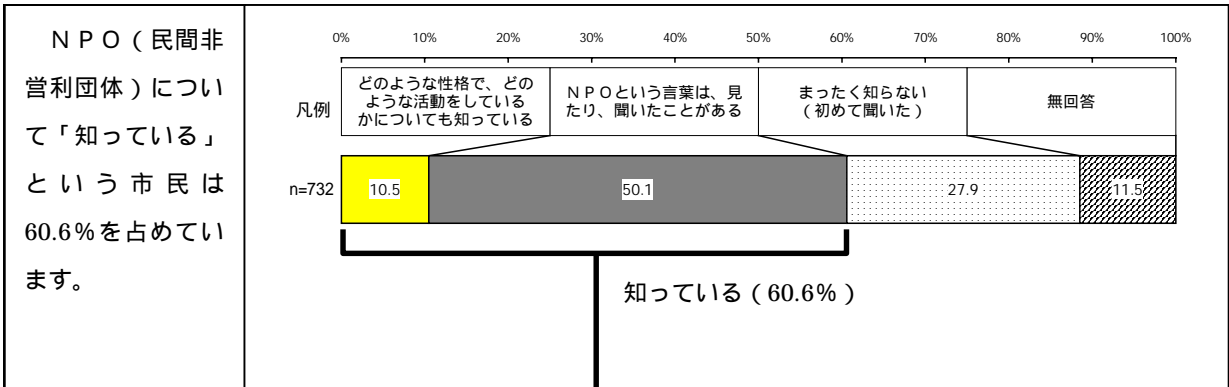


(3) 男女共同参画社会形成に必要なこと (複数回答)

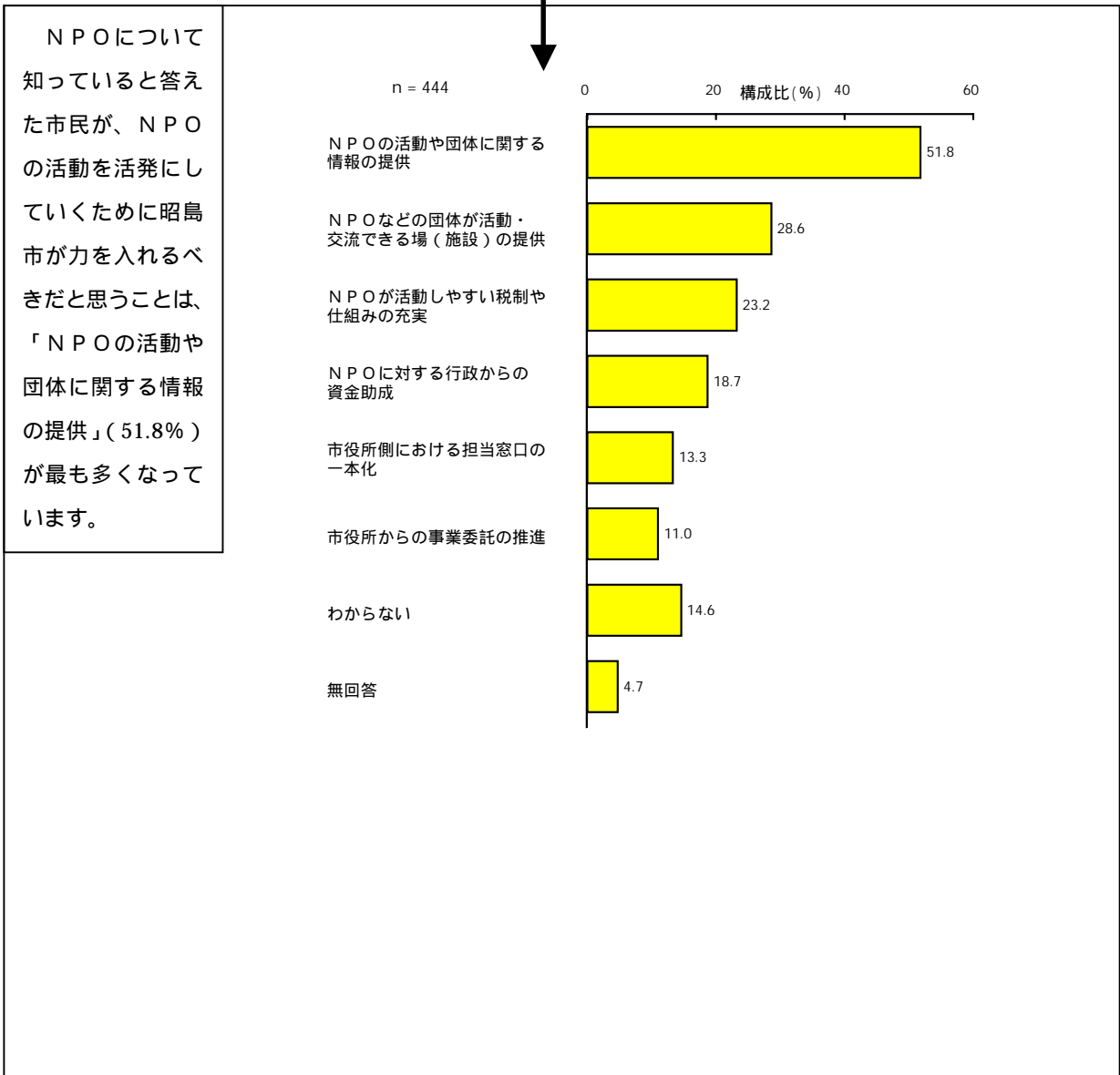
「仕事と家事・育児・介護の両立ができるよう支援する」(35.5%)が最も多く、次いで「女性が働きやすい職場環境づくりをする」(29.6%)が多くなっています。



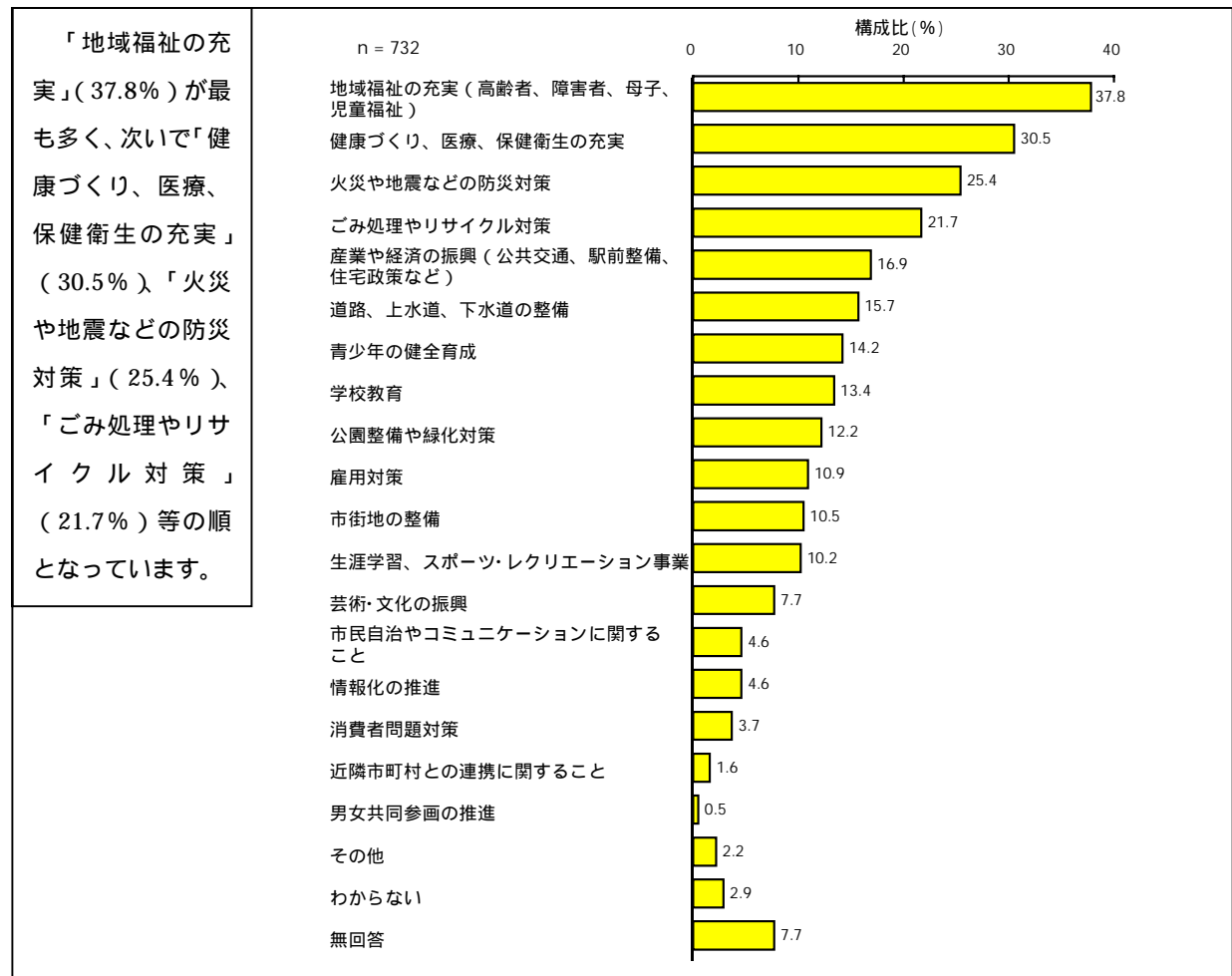
(1) NPOの認知度



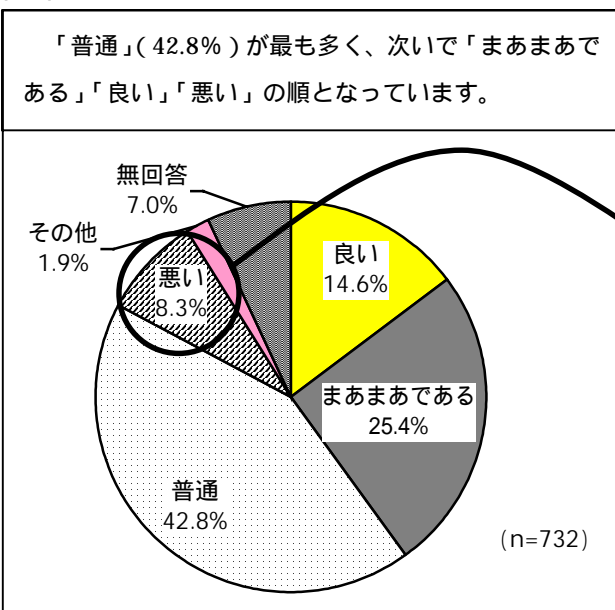
(2) NPO活動のための施策 (複数回答)



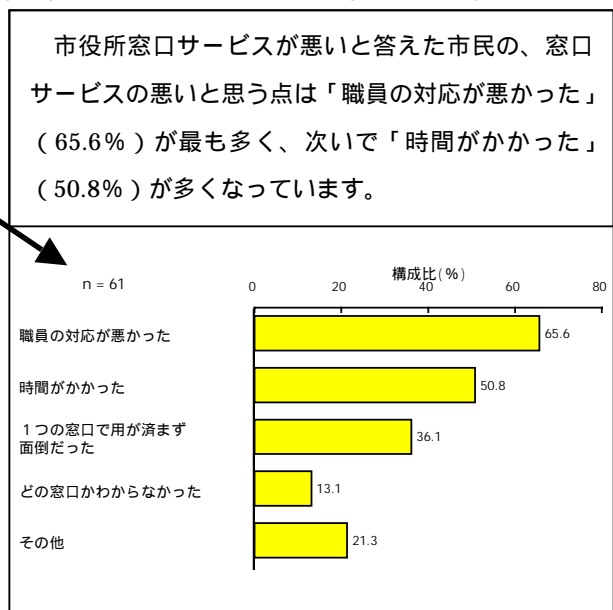
(1) 市の施策の力点 (複数回答)



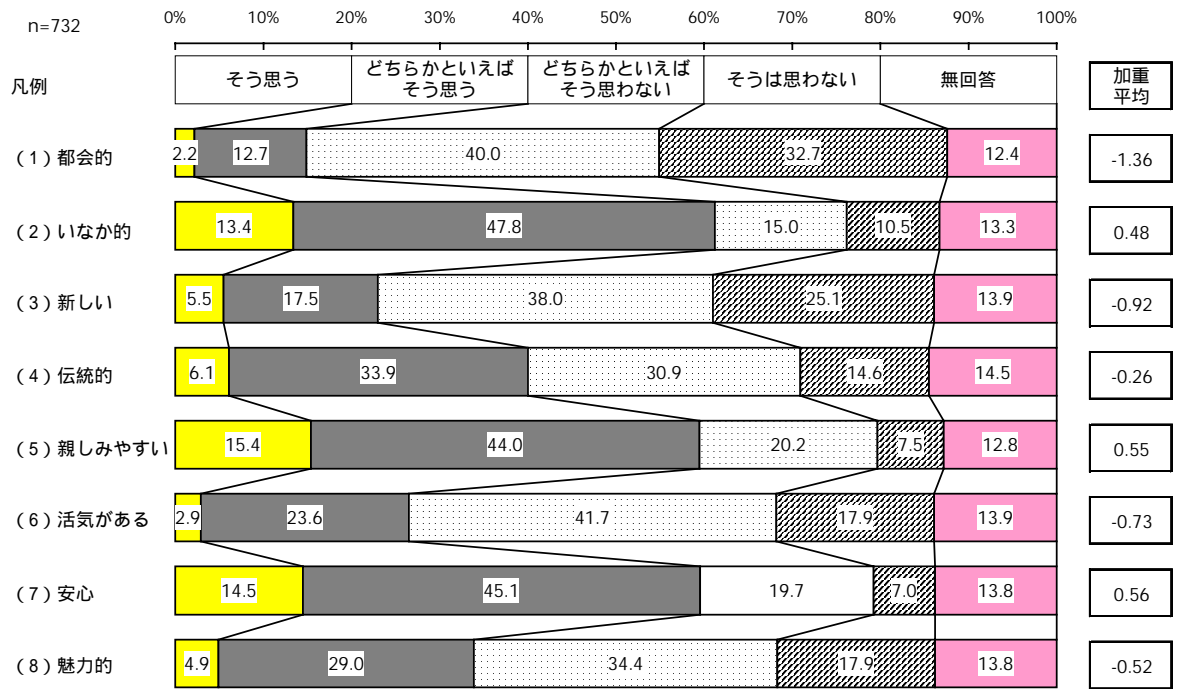
(2) 市役所窓口サービスの感想



(3) 窓口サービスの悪い点 (複数回答)



昭島市のイメージは「安心」(加重平均 0.56)が最も高く、次いで「親しみやすい」(0.55)、「いなかの」(0.48)等の順となっています。



加重平均：「そう思う」3点、「どちらかといえばそう思う」1点、「どちらかといえばそう思わない」-1点、「そうは思わない」-3点の平均